

平成19年6月5日

各 位

会社名 ナトコ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 粕谷忠晴  
 (JASDAQ・コード4627)  
 問合せ先  
 役職・氏名 取締役副社長 粕谷健次  
 電 話 0561-32-2285

(修正)「投資損失引当金の計上及び平成19年10月期中間(連結・単独)業績予想との差異及び通期(連結・単独)業績予想の修正について」の一部修正

平成19年6月1日に発表いたしました「投資損失引当金の計上及び平成19年10月期中間(連結・単独)業績予想との差異及び通期(連結・単独)業績予想の修正について」につきまして、中間個別財務諸表における投資損失引当金の計算に誤りがあり、また中間連結財務諸表における貸倒引当金繰入額の表示区分に誤りがありましたので、下記の通り修正いたします。なお、修正箇所には、下線を付して表示しております。

記

【修正箇所】1. 投資損失引当金の計上

(修正前)

当社の連結子会社である耐塗可塗料化工(青島)有限公司の出資について、当該子会社の財政状態及び今後の見通しを勘案した結果、財務の健全性の観点から投資損失引当金 151 百万円を計上することといたしました。なお、連結財務諸表においては、当該子会社の財政状態が織り込まれていますので、連結業績への影響はありません。

(修正後)

当社の連結子会社である耐塗可塗料化工(青島)有限公司の出資について、当該子会社の財政状態及び今後の見通しを勘案した結果、財務の健全性の観点から投資損失引当金 82 百万円を計上することといたしました。なお、連結財務諸表においては、当該子会社の財政状態が織り込まれていますので、連結業績への影響はありません。

【修正箇所】2. 平成19年10月期 連結業績予想の修正等

(修正前)

2. 平成19年10月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期(平成18年11月1日~平成19年4月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	6,140	605	300
今回修正(B)	6,596	<u>811</u>	401
増減額(B-A)	456	<u>206</u>	101
増減率	7.4%	<u>34.1%</u>	33.7%
(ご参考) 平成18年10月中間期実績	5,850	505	216

## (2) 通期 (平成18年11月1日～平成19年10月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	12,900	1,470	750
今回修正 (B)	13,600	<u>1,670</u>	820
増減額 (B-A)	700	<u>200</u>	70
増減率	5.4%	<u>13.6%</u>	9.3%
(ご参考) 平成18年10月期実績	12,119	1,132	524

## (3) 修正理由

中間期の業績に関しましては、ファインケミカル事業における自己治癒コーティング材料が電子材料分野向けに旺盛な需要があったことなどにより、売上高は、当初予想 (6,140 百万円) を 7.4% 上回り、6,596 百万円となる見込みです。また、利益面におきましては、売上の増加要因に加え、生産面での効率化を推進した結果、経常利益は、当初予想 (605 百万円) を 34.1% 上回り 811 百万円、当期純利益は、当初予想 (300 百万円) を 33.7% 上回り 401 百万円となる見込みです。

通期の業績予想に関しましては、売上高は、当初予想 (12,900 百万円) を 5.4% 上回る 13,600 百万円、経常利益は、当初予想 (1,470 百万円) を 13.6% 上回る 1,670 百万円、当期純利益は、当初予想 (750 百万円) を 9.3% 上回る 820 百万円となる見込みです。

(修正後)

## 2. 平成19年10月期 連結業績予想の修正等

## (1) 中間期 (平成18年11月1日～平成19年4月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	6,140	605	300
今回修正 (B)	6,596	<u>800</u>	401
増減額 (B-A)	456	<u>195</u>	101
増減率	7.4%	<u>32.4%</u>	33.7%
(ご参考) 平成18年10月中間期実績	5,850	505	216

## (2) 通期 (平成18年11月1日～平成19年10月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	12,900	1,470	750
今回修正 (B)	13,600	<u>1,660</u>	820
増減額 (B-A)	700	<u>190</u>	70
増減率	5.4%	<u>12.9%</u>	9.3%
(ご参考) 平成18年10月期実績	12,119	1,132	524

## (3) 修正理由

中間期の業績に関しましては、ファインケミカル事業における自己治癒コーティング材料が電子材料分野向けに旺盛な需要があったことなどにより、売上高は、当初予想 (6,140 百万円) を 7.4% 上回り、6,596 百万円となる見込みです。また、利益面におきましては、売上の増加要因に加え、生産面での効率化を推進した結果、経常利益は、当初予想 (605 百万円) を 32.4% 上回り 800 百万円、当期純利益は、当初予想 (300 百万円) を 33.7% 上回り 401 百万円となる見込みです。

通期の業績予想に関しましては、売上高は、当初予想 (12,900 百万円) を 5.4% 上回る 13,600 百万円、経常利益は、当初予想 (1,470 百万円) を 12.9% 上回る 1,660 百万円、当期純利益は、当初予想 (750 百万円) を 9.3% 上回る 820 百万円となる見込みです。

【修正箇所】 3. 平成 19 年 10 月期 単独業績予想の修正等  
(修正前)

3. 平成 19 年 10 月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 18 年 11 月 1 日～平成 19 年 4 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	5,750	575	320
今回修正 (B)	6,190	780	<u>276</u>
増減額 (B-A)	440	205	<u>△43</u>
増減率	7.7%	35.7%	<u>△13.7%</u>
(ご参考) 平成 18 年 10 月中間期実績	5,533	481	243

(2) 通期 (平成 18 年 11 月 1 日～平成 19 年 10 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	12,100	1,390	790
今回修正 (B)	12,800	1,600	<u>720</u>
増減額 (B-A)	700	210	<u>△70</u>
増減率	5.8%	15.1%	<u>△8.9%</u>
(ご参考) 平成 18 年 10 月期実績	11,409	1,070	577

(3) 修正理由

中間期の業績に関しましては、ファインケミカル事業における自己治癒コーティング材料が電子材料分野向けに旺盛な需要があったことなどにより、売上高は、当初予想 (5,750 百万円) を 7.7% 上回り、6,190 百万円となる見込みです。経常利益は、売上の増加要因に加え、生産面での効率化を推進した結果、当初予想 (575 百万円) を 35.7% 上回り 780 百万円となる見込みです。また、当期純利益では、前述の投資損失引当金などを特別損失に計上したことにより、当初予想 (320 百万円) を 13.7% 下回り 276 百万円となる見込みです。

通期の業績予想に関しましては、中間期の業績修正をふまえて、売上高は、当初予想 (12,100 百万円) を 5.8% 上回る 12,800 百万円、経常利益は、当初予想 (1,390 百万円) を 15.1% 上回る 1,600 百万円、当期純利益は、当初予想 (790 百万円) を 8.9% 下回る 720 百万円となる見込みです。

(修正後)

3. 平成 19 年 10 月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 18 年 11 月 1 日～平成 19 年 4 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	5,750	575	320
今回修正 (B)	6,190	780	<u>345</u>
増減額 (B-A)	440	205	<u>25</u>
増減率	7.7%	35.7%	<u>8.0%</u>
(ご参考) 平成 18 年 10 月中間期実績	5,533	481	243

(2) 通期 (平成18年11月1日～平成19年10月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	12,100	1,390	790
今回修正 (B)	12,800	1,600	<u>800</u>
増減額 (B-A)	700	210	<u>10</u>
増減率	5.8%	15.1%	<u>1.3%</u>
(ご参考) 平成18年10月期実績	11,409	1,070	577

(3) 修正理由

中間期の業績に関しましては、ファインケミカル事業における自己治癒コーティング材料が電子材料分野向けに旺盛な需要があったことなどにより、売上高は、当初予想 (5,750 百万円) を 7.7%上回り、6,190 百万円となる見込みです。経常利益は、売上の増加要因に加え、生産面での効率化を推進した結果、当初予想 (575 百万円) を 35.7%上回り 780 百万円となる見込みです。また、当期純利益では、前述の投資損失引当金などを特別損失に計上したことにより、当初予想 (320 百万円) を 8.0%上回り 345 百万円となる見込みです。

通期の業績予想に関しましては、中間期の業績修正をふまえて、売上高は、当初予想 (12,100 百万円) を 5.8%上回る 12,800 百万円、経常利益は、当初予想 (1,390 百万円) を 15.1%上回る 1,600 百万円、当期純利益は、当初予想 (790 百万円) を 1.3%上回る 800 百万円となる見込みです。

以 上